

千葉県支部だより

Vol.30



「木蓮…崇高」 画／三浦 富子 (昭和42年経済学部卒)

東洋大学 校 歌

作詞 林 古溪
作曲 山田耕作

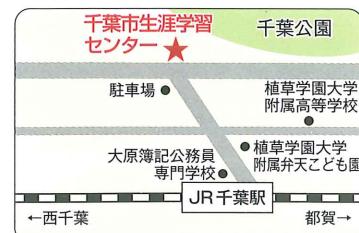
- 1 亞細亞の魂 再び此處に
目覚めしよろこび 溢れつ人に
雄々しく揚げたり闇の声
東洋大学 生れぬかくて
- 2 亞細亞の天地 晓明けて
仁義と慈悲との 誠の光
今こそ輝け 亞の海
東洋大学 務は重し

2024年度 東洋大学校友会
千葉県支部の集い ご案内

日時 2024年 6月 23日 (日)

会場 千葉市生涯学習センター
3F大研修室☎ 043(207)5811
千葉市中央区弁天3-7-7[懇親会] 千葉センシティ22F
手作り居酒屋「甘太郎」
☎ 043(204)2671

会費 懇親会 会費 5,000円

受付 / 12:30～
総会 / 13:00～
懇親会 / 16:00～

JR 千葉駅より徒歩 10 分



ご挨拶

支部長 池俊一
(昭和47年文学部仏教科卒)

校友の皆様方には、ご健勝のことと思います。

皆様のご理解のもとで2023年度も支部総会を開くことはできました。本年度は総会終了後、初めて参加をされた校友3人の出席も含め、缶ビールとサンドイッチなどで懇親会を設けました。屋外で、限られた時間でしたが、一時間という時間が恨めしくさえ思いました。コロナ禍の過ごし方の工夫や思わぬ知り合いの消息が聞け、話が尽きませんでした。改めてこうした機会が大切だと思いました。2024年の総会終了後も感染状況にもよりますが、幅を広げて実施したいと考えています。多くの校友が参加できるような方法を考えます。

さて、校友会の財政状況について話をいたします。大学からの代理収納制度が2015年に停止されて以降、明らかな財政破綻が予見されています。毎年約4500万円の赤字を出し続けています。メルマガ読者は8700人程いますが、殆どは所謂フリーライダーです。この人たちが正会員になって下さればと考えていますが、会費増はままなりません。本部の資産残高は、このままでは推移していくとあと4年位で破綻してしまいます。一縷の望みは、大学と包括協定を結ぶことができ、協力金の目途がたつことです。1000万円をいただくことができました。そして、この延長線上に代理収納復活が期待されます。なかなか厳しい条件下にあることは間

違いたいありません。

関連しまして、紙媒体で全正会員に発送されていた本部会報誌についてですが、2024年も発送することです。延長になったのは、皆さんのが届いたのではないかと思います。以降は、インターネットを通しての配信になっていくようです。紙媒体で発行し続けてきた本支部の会報誌もそれに連動していかねばとも思いますが、どんなもんでしょうか。2023年度は校友会本部の支部ブログでも支部会報誌を配信することができるようになりました。行事の案内や支部の役員会の様子、校友会本部の総会通知など、ブログを見るることができます。スマホも利用できます。是非見ていただければ幸いです。

どうも先行きの見通せないことばかり述べましたが、千葉支部では、若い年代の役員が会の中核となり、昨年度に引き続き初場所見物、Zoomによる交流会、地区の懇親会なども企画してくれています。希望のあふれる支部です。お忙しいとは重々承知をしていますが、ピクニックでも構いませんので校友の皆さんを持っている知識・スキルをお貸し願えませんでしょうか。支部は校友一人一人の活躍できる会を目指しています。

最後になりますが、2023年度に『一般社団法人東洋大学校友会コンプライアンス規程』が設けられました。これは、健全な環境の維持、いかなるハラスマントも行わず、よりよい活動をしていくためのモノです。対象は校友会に関わる者すべてです。法令・規則を遵守するというばかりではなく一般社会常識を守ることも含まれます。ついつい自分の正義を振りかざし、知らず知らずのうちに他者を強く非難したり、不快な思いをさせることもあります。過ぎたるは及ばざるがごとし、他者を慈しむ心を持つことが肝要だと思います。自省しつつ。

役員名簿

役職	氏名	卒年	地区	役職	氏名	卒年	地区	代表幹事	氏名	卒年	地区
顧問	☆川上三郎	社会 S36	佐倉市	幹事長	☆鈴木康夫	経営 S48	千葉市	第1地区	宮下静男	法学 S47	市原市
相談役	☆梅林三郎	経済 S40	千葉市	副幹事長	高梨正志	経営 H9	千葉市	副幹事	田原治之	法学 H元	千葉市
〃	中川泰治	経済 S42	野田市	会計	猿渡直人	国文 H12	柏市	第2地区	女良和彦	法学 H16	八千代市
支部長	☆池俊一	文学 S47	佐倉市					副幹事	西村敦	工学 S61	市川市
副支部長	☆柴田政英	経済 S49	柏市	監事	内田輝幸	法学 S41	千葉市	第3地区	☆相原和茂	社会 H5	松戸市
〃	富岡正明	文学 S49	柏市	〃	☆金子芳則	経済 S45	銚子市	副幹事	湖林孝之	法学 S53	流山市
〃	☆山本哲夫	経済 H13	松戸市	女性幹事	大内重子	文学 S49	佐倉市	第4地区	☆水元直行	社会 H9	印西市
〃	☆鈴木康夫	経営 S48	千葉市	〃	川口裕美	経済 S57	浦安市	第5地区	高橋孝之	法学 S56	木更津市
(注意)役員任期 2021年総会時～2024年総会時⇒改選 2024年総会時											
☆→代議員 任期は2022年2月15日～3年内に実施される代議員選挙終了の時まで											
※→理事(推) 任期は2022年5月代議員会～2024年5月代議員会までの2年間											
令和5年4月1日作成											
副幹事 平野恭男 社会 S49 銚子市											

千葉市で支部総会開催

支部長 池 俊一
(昭和47年文学部仏教科卒)

チーム東洋大学校友会 楽しい集いの団体組織に

顧問 川上三郎
(昭和36年社会学部卒)

コロナ禍がひと段落してきました。千葉県支部総会が令和5年6月24日(土)15時30分から千葉市生涯学習センター大研修室で開催されました。開会に先立ち永眠された同胞の物故者の方々に黙祷を捧げました。

幹事長の鈴木さんに総合司会をしていただきました。

大学歌斎唱(テープによる)、開会のことばを山本哲夫さん、議長には第3地区幹事の相原和茂さんが選出され、次の議題を審議しました。なお、議事録署名人は宮下静男さん、高橋孝之さんにお願いをしました。

- 第1号議案 令和4年度事業報告を鈴木康夫さん
- 第2号議案 令和4年度決算報告を猿渡直人さん
- 第3号議案 監査報告を監事の内田輝幸さん
- 第4号議案 令和5年度事業計画(案)を相原和茂さん
- 第5号議案 令和5年度予算(案)を猿渡直人さん
- 第6号議案 令和5年度役員(案)を池俊一
- その他IT推進について高梨正志さん
- 閉会のことばを柴田政英さん

上程された議題は慎重審議のうえ承認されました。

出席会員からの質問事項ですが、特段はありませんでしたが、正会員や新卒者の加入状況についての、正会員の減少傾向を危惧されていました。因みに2022年度末の正会員は692人です。その内新卒者は3名です。700人を切ってしまいました。それに伴い、本部からの交付金も513,000円と減少しています。

総会終了後記念写真を撮影しました。初めての参加の西村大介さん(平成12年国文)、白井忠さん(平成8年社会)、齋藤正弘さん(平成7年経営)をはじめとして校友の参加をいたただけたこと感謝しております。

総会終了後に近くの千葉公園に場所を移し懇親会を行いました。



総会後の記念撮影

チーム東洋大学校友会。東洋大学を卒業した同窓生の拠りどころ。そこが東洋大学校友会だと思います。歳を経るにつれ思い出される大学時代。職業、趣味を超えて楽しく集える校友会、支部の維持、発展が期待されます。

校友会は母校に貢献できる卒業生の組織。支部活動、校友会本部の常任委員、法人化された校友会の理事として長い間お世話になったことは、かけがえのない経験です。都道府県単位の61支部から構成された全国組織の常任委員会、激論のあとの反省会的呑み会は楽しい思い出。法人化された校友会は全国ブロック化による代表の理事会による組織運営が期待されています。

素晴らしい校友会組織も大学側の在校生からの会費代理徴収制度の廃止から財政面では大変な事態にあります。大学は校友会を活用し、校友会は大学に貢献できる組織として共生が期待されます。それに向かってリーダーの皆様の鋭意をお願いします。

最後に個人的なことですが、千葉県支部、近隣支部の仲間の皆様のご支援をいただき、楽しい集いのサツマ芋掘り、バーベキュー大会を実施してきましたが、今年も計画していますので、またご協力をお願い申し上げます。

Zoom体験研修会の振り返りと 今後のZoomの展開について

高梨正志
(平成9年経営学部卒)

Zoom体験研修会を一昨年は7月18日と11月14日の2回、昨年は2月13日と11月13日の2回開催しました。

参加人数は、第1回が5名、第2回が7名、第3回が7名、第4回が4名でした。回数は一昨年よりも多く増やして役員会、支部総会がない月に開催しようと思っていましたが、4月から7月まで家庭の事情でなかなかできませんでした。

参加人数は役員やFACEBOOKやLINEの告知だけでは足りないので、総会の時に声かけをしました。しかし、Zoomを経験した人が少なく、3人のメールアドレスを収集することができました。総会後、開催文書を送りましたが、3人とも不参加で一昨年よりも人数を増やすことができませんでした。

毎回、体験研修会では支部長の挨拶の後、雑談内容は支部長や幹事長と事前に決めていなかったので、フリー

トークを行っていました。体験研修会を4回開いてみて、参加者がZoomに慣れてきたので、次回からの会合の名称を体験研修会から情報交流会に変更し、2月12日に開催することを12月18日の役員会で決めました。

2月12日のZoom情報交流会では9人が参加してくれました。話す内容も事前に決めて、鈴木幹事長と相談したので、以前よりも長い時間で事前に決めた内容で話せましたが、2時間のうちの1時間しかできず、後半はフリートークになってしまいました。話す内容は支部長の挨拶、大相撲初場所観戦ツアーの感想と要望、近況報告の3つだったので次回の会合では話す内容を増やしたり、画面共有を使って皆に見せながら話す時間を増やす工夫をしていきたいです。参加人数は一昨年と昨年と比べて増えましたが、もっと増やすにはZoom情報交流会の文書を送るのにメールアドレスを聞きましたが限界があるので、事務局から送られてくるZoomのURLをFACEBOOKやLINEに掲載して情報交流会に参加できるようにしたいです。

2020年7月下旬に池俊一支部長からIT推進委員の就任要請があってから引き受けて8月23日に初めて事務局主催

のZoom研修会を受講しました。最初はトラブルが発生し、使いこなせるまで時間がかかりましたが、何回か研修会を受けたり、事務局の人からZoomの使い方を聞いて支部での会合を開けるようになりました。今は私が中心になってZoomの会合を開いていますが、他の人にもZoomの使い方を教えて、会合を主催して開けるようにしたいです。

千葉支部のブログ開設について

2022年度から校友会千葉支部の「[支部ブログ](#)」を開設いたしました。校友会のホームページから支部の総会や行事の情報を発信しています。また、facebookでは、校友との情報交換が出来ますので、ぜひご登録下さい！



アルコールも復活、楽しく交流会



フォトコンテスト(推奨)
題 RANMAN

令和5年度の支部の集い(総会)は6月24(日)千葉市生涯学習センターで開催されました。3年に渡るコロナ禍もようやく明るい兆しが見え、5月8日からは感染症法上の位置づけが2類から5類に移行されましたが、計画段階では未だ憂慮されておりましたので、本年度も支部会員のみでの開催となりました。初参加の3名を含む総勢36名の参加があり、予定された議事

は滞りなく審議され承認されました。

当日は千葉公園大賀ハス祭りの開催中で、見事な大賀ハスを観賞しながら交流会場(レストラン・カフェハーモニー)に移動。カフェ・ハーモニーは「NPO法人障害者の

幹事長 鈴木 康夫 (昭和48年経営学部卒)

就労を支援する会」が運営しており、私も役員としてお手伝いを始めてから5年となります(余談となります、お祭りの開催中にはフォトコンテストがあり、私も応募し今回初めて推奨に選ばれました)。

本年は夕方18:00からの開催で、カフェのテラスでの5、6人毎のテーブルでの会食となりました。会費は1,500円で若干のアルコールも用意いたしました。初参加の西村大介氏(H12国文千葉市)、白井忠氏(H8社会白井市)、齊藤正弘氏(H7経営松戸市)からの自己紹介、その後会員の近況、学生時代の思い出、近年の母校の発展ぶり、卒業生校友の活躍、大學スポーツでの後輩学生たちの活躍等、話しが盛り上がり楽しい一時となりました。

予定時刻の19:00を少し回ったところで開きとなりました。お帰りの際には会員の皆様から、NPO従事者・利用者製作の手芸品や竹細工を多数お買い上げいただきありがとうございました。



テーブル毎に楽しい会食

SPORTS

中川 泰治
(昭和57年経済学部卒)

ボクシング**全日本選手権大会で5人が優勝!!**

2023年11月21日～26日、全日本選手権が隅田総合体育館で開催された。東洋大ボクシング部から5名の王者が誕生した。東洋大ボクシング部としても過去最多であった。また、女子バンタム級王者となった原田美琴はオリンピック階級での優勝となり、2月イタリアで行われるパリオリンピック予選に出場することが内定した。

【優勝者5名】

女子ミニマム級 加藤 光 技能賞
女子バンタム級 原田美琴 パリオリンピック予選代表権獲得
男子バンタム級 田中将吾
男子フェザー級 中山慧大
男子ウェルター級 田中 空 技能賞



原田美琴選手

全日本大学王座決定戦で連覇!!

2023年8月26日(土)大阪府立門真スポーツセンター RACTABドームサブアリーナで開催された、全日本大学王座決定戦で、東洋大学ボクシング部は西の王者同志社大学と対戦、11-0の完封勝利で、日本一連覇を達成した。2019年、2022年に続き三度目の全国制覇の偉業を見事に成し遂げました。さらに個人成績においても快挙!



第77回全日本大学王座決定戦 (2023年8月26日)



関東大学リーグ戦 (2023年7月8日)

大学王座決定戦の三賞は、最優秀選手賞／田中将吾(4)、敢闘賞／堤麗斗(3)、技能賞／田中空(4)と東洋大が独占、強さを印象付ける大会となつた。

でゴールイン、前回10位からの大幅な躍進を遂げた。往路で3年生以下の選手が大活躍をみせました。最後まで懸命に走り、9区で吉田(3)が区間2位、10区でも岸本(2)がハイペースで区間賞の力走、鉄紺の再建を印象付けた。来るべき2025年箱根駅伝、復活の東洋大を目指して応援して参りましょう。



復路10区第4位を走る岸本遼太郎選手(東洋大学)

大相撲初場所観戦ツアーに参加して

松井 恵子 (平成17年短大英文)

1月27日、支部で二度目となった大相撲観戦に参加させていただきました。待ち合わせの両国駅の改札で元気なお姿を見つけるたびに嬉しくなりました。

東白龍、御嶽海は負けてしまい残念でしたが、琴ノ若と霧島の取組は本当に素晴らしいです。琴ノ若が寄り切りで勝った時の観客の歓声、熱気は会場に足を運ばなければ味わえない醍醐味でした！

参加された皆さんの感想をご紹介します。

●一年ぶりに元気な皆様に会えて私も元気になりました。一人ではなかなか相撲観戦はできないので楽しく参加しています。

植村初枝 (H16年・文学)

●14日目の大相撲ツアーは手に汗を握る思い。関取たちの取組は大歓声に巻き込まれ、あっという間の物言い、照ノ富士の立派な土俵入、二度の待ったの立ち上がりで霧島に勝った琴ノ若、男性陣の高い声援は土俵に届くほどに!! 果たして、今日の千秋楽の優勝の軍配は如何に！

永田桂子 (H10・社会)

●久しぶりの大相撲観戦でした。会場の迫力に思わず大声で応援していました。やはりテレビで見るのとは大違いです。

田渕美智子 (S56年・経済)

●照ノ富士が横綱になってから、初めて生で横綱土俵入を見て感動しました。優勝争いで盛り上がっている14日目の大相撲を観戦できてとても良かったです。役員の皆様、ありがとうございました。

佐藤久美 (S61・短大)

●今年は海外の方もたくさん観にいらっしゃっていて、昨年とはまた違う雰囲気でした。残念ながら、御嶽海は負けてしまいましたが、迫力の取組と国技館の雰囲気を楽しめていただきました。

松井恵子 (H17・短大英文)



朝志雄-琴拳龍の取り組み



久しぶりの大相撲観戦

箱根駅伝**見事4位 「鉄紺の再建」へ**

マスコミの話題にもならなかった東洋大、今年はスタートから出遅れたが選手たちの健闘の結果、見事4位

水彩画との出会い

金子芳則

(昭和45年経済学部卒)

子供の頃からチラシの裏に、飛行機や船、景色などを描くのが好きでした。

退職後、念願の水彩画教室に入りました。熟年女性を中心の和やかなクラス。週1回絵と会話と熱いコーヒーを楽しんでいます。

毎年開催の作品展は、努力と遊びの成果。照れくささと誇らしさが混じります。

一年目の画題は花、二年目からは好きな船や風景を描いています。画題は銚子港の哀愁ある錆びた漁船や巡視船など。銚子市内をめぐり題材を探すのも楽しみです。

五年目の作品は、大河ドラマの「浜松城」と「羽黒山への道」。

旅行先の風景と想い出を、一枚の水彩画に残すのもアリかなと思いました。

水彩画教室への第一歩を躊躇した時、強く勧めてくれた妻にも感謝。この頃は一番のファンであり、一番恐い批評家です。水彩画に出会えて心にゆとりができました。



「銚子港の漁船」



「浜松城」

第一地区暑気払い懇親会

田原治之

(平成元年法学部卒)

校友会千葉県支部第一地区の暑気払いを兼ねた懇親会を2023年(令和5年)8月26日の夜に開催させていただきました。卒業生が経営されている千葉駅近くの和風居酒屋を、ご好意により貸し切りにしていただき、10名の方々にご出席いただきました。

2020年(令和2年)1月から新型コロナウイルスが世界規模で蔓延する中、数年間にわたる感染防止のための行動制限等により多数の人が集まるイベントを開催することができませんでしたが、感染状況も落ち着いてきて、ようやく集まる機会を設けることができました。

美味しい料理とお酒を味わいながら、同窓生との久々の再会で大いに旧交を温めていただけて、各所で会話が弾んでいました。私も諸先輩方から貴重なお話をたくさん聞かせていただき、楽しく有意義な時間を過ごすことができ

ました。

今後は地区合同でのイベント開催や、日帰り旅行・宿泊旅行と徐々に規模を拡大していけたらと考えております。



久々の第一地区懇親会

銚子白山会近況

多部田憲一

(昭和48年経営学部商学科卒)

令和5年7月22日(土)に総会を開催しました。出席人数は少ないですが、いつも楽しく和気あいあいの会となっております。いつも会の様子が、地元新聞の大衆日報に載ります。今年は、残念ながら会

の重鎮への黙祷から始まり、寂しい限りですが、校友ならではの盛り上がりは、特別なものです。私事ですが、本年初めて箱根駅伝の復路ゴールの場所に行く機会を得ました。大混雑のすごさに圧倒され、尋常ではない雰囲気に大興奮でした。

当会も、駅伝のように櫻をつないでいけたら良いなと思います。

毎度のことですが、銚子白山会会員は、東洋大学校友であることを誇りに思い、後輩たちのがんばりに力をもらい、日夜頑張っております。最後に皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。



「エイエイオーッ！」 気合十分

日本画と私

三浦富子

(昭和42年経済学部卒)

お友達に誘われて県立美術館に行き花中心の日本画を観て、私も描いてみたいと思い習い始めたのがスタートでした。

自宅の庭に咲く桜、木蓮、コスモス、日本水仙、椿、紫陽花、南天、ドクダミなど時期に合わせて描きました。

そんな中、「和ダイニング千代川」をオープンして1ヵ月経った頃、「この店さみしいね!」と言うお客様の声。「カレンダーの写真でも飾ってみたら」など……それなら私の絵を飾ったほうがいいかな! というわけで作品を8点飾りました。時々お客様から「誰の絵ですか」と聞かれます。

私は花が好きなのですが、生花は枯れてしまうので絵に残したいと思ったのが描くきっかけになりました。

箱根駅伝が与える未来への夢

三 橋 雅 夫

(昭和58年文学部卒)



幹事長の鈴木康夫氏から支部だより寄稿のお話をいただきました。同氏とは退職後も共に長く「NPO法人障害者の就労を支援する会」で福祉活動等に励む大切な関係です。

さて、私こと この度令和5年秋の叙勲において、瑞宝双光章の栄に浴したことは身に余る光榮と感謝しています。今年は東京での伝達式があり、同日引き続き皇居に参内、天皇陛下にご拝謁し陛下からご祝辞もいただき感激しました。

振り返って見ますと、大きな夢を描いて小学校教職の道へ。学級担任、教務主任、教頭を経て平成13年度千葉市教委学事課へ。初任校長は千葉市立都賀の台小。平成17年度再び市教委へ。企画課では主幹職で学校適正配置事業の統合校業務を担いました。次いで養護教育センター所長へ。学校訪問相談員や特別支援教育支援員の増員等に取り組みました。平成20年度小中台小学校長着任。学校理解の一例に「校長通信」を発行してきました。

箱根駅伝は何度も取り上げましたが最も心に残っている場面は平成21年度1月号です。私と箱根駅伝の出会いは妻の実家が神奈川県大磯町。昭和51年より毎年大磯町の定位置で母校の応援をしています。

それでは校長現役最後の校長通信、箱根駅伝の概要を紹介します。

『今年の箱根駅伝は東洋大が2年連続総合優勝に輝きましたが、今年多くの感動場面がありました。1本の襷をどう繋いでいくか、襷に込められた想いは想像を超える重さがあるものでしょう。「箱根の山は天下の剣」とあるように、箱根山を制するものは駅伝も制すという言葉がありますが、今年も東洋大の2年柏原選手は箱根山登りの第5区を任せられました。6人を抜き、見事同大の往路優勝を勝ち取ります。彼は「新・山の神」と呼ばれるようになるわけですが同選手

の太股を見ると他の選手より太いことに気付きます。きっと見えないところでの練習や鍛え方があるのでしょう。また、城西大3年の石田選手は第7区を区间2位の記録で同大は念願のシード権を獲得します。この石田選手は昨年8区で途中棄権してしまい同大学は屈辱の「記録なし」に終わります。駅伝の使命である「襷」が、彼の途中棄権ということです切れてしまったのです。自分一人のせいで、皆に、陸上部に、大学の歴史にと、彼は大きな責任を感じます。挫折感に見舞われ大学生活や陸上練習にも身が入らなくなります。そんな時彼の支えになったのが家族であり仲間であったのです。TVでも次の選手に見事昨年の雪辱を果たし「襷」を繋いだ映像に涙する両親や仲間の姿に多くの感動を覚えました。

子供たちの学校生活や学習においてもこのような困難の状況を克服していくこと、努力することの大切さ、そして決して一人ではないことを学んでもらいたいのです。今年は寅年です。虎のような気性をもって常に高い目標に挑戦する、何事にも諦めないで取り組むと共に自分自身の行動を律し、相手の立場や考え方には思いをはせた言葉掛けや行動が出来ることを願っています。』

総会への参加に寄せて

齋 藤 正 弘

(平成7年経営学部経営学科卒)

原稿を前に、静岡の田舎町からモラトリアムを求めて入学したこと、志望動機が当時聞いていた深夜ラジオの放送作家で本学出身の鶴間政行氏のファンであったことがきっかけとなったことなどを思い出しました。

卒業後は会社員生活を送り、現在は千葉県松戸市に居を構え15年程となります。齢50を過ぎた頃から少しづつ、会社とは別のコミュニティへの参加意識と母校への懐かしさが芽生え始め、総会への初参加に突き動かされたのだと思います。

昨年6月開催の千葉支部総会は総勢30名弱、初参加者は私含め3名程度でしたが、総会後の懇親会では皆さん気軽に話しかけてくださいました。本学出身者というだけで、妙な親近感を得られるのは校友会の醍醐味であると思いますので、今後も可能な限り参加させていただければと存じます。

毎年、野球や箱根駅伝など本学およびOBOGの活躍には勇気と元気をいただいており、今後とも卒業生のひとりとして陰ながら応援して参ります。頑張れ東洋!



学生企画の TOYO 文字のイルミネーション



会員のメッセージ

(令和5年度総会案内ハガキの近況欄より)

昨年は、慢性腎不全等の病気で3回にわたる入退院を経て、自宅療養中です。現在は低下した体力の回復を目指して、リハビリに取り組む毎日が続いております。自分でもこんなに衰えてしまったのかとびっくりしたのですが、介護保険の「要介護1」の認定を受けてしまいました。したがって、歩行訓練と体幹ストレッチを中心に理学療法士の指導を受けている状態です。そんな訳で、まだ外出がままなりません。必ずやこの試練を克服して校友会活動に再び参加出来るよう、引き続き精進してまいる所存です。

湖林孝之 S53 法・経営法 流山市

家庭菜園で野菜作りに楽しみ、雑草と害虫と戦い生きがいにしています。総会当日、ボクシング部は関東大学リーグ戦第四日目対駒大戦、実質上の決勝戦のため支部総会欠席します。

大平直樹様 S43 社会・社会 千葉市

家内が体調不良のため申し訳ありませんが総会には出席できません。よろしくお願ひ致します。心ばかりですが協賛金1万円を寄付させて頂きます。

梅林三郎様 S40 経済・経済 千葉市

混声合唱団で1年先輩の、川上さん（旧姓坂井さん）のお誘いがあつてメンバーの一員となって20年が経ちました。その間、会の木更津の役員とし末席を担ってきました。西船橋での総会の後、全員が輪になって踊りながら歌った「チャンチキおけさ」、ホキ美術館、アウトレットパーク等の見学。大変明るく、個性豊かな同朋に恵まれてすごく有意義な時間でした。現在84歳。最近はどこの会場でも最年長・・・。様々な経験をもつて今年限りで、退会したいと思います。結びに東洋大学校友会千葉支部の、ご活躍ご発展を祈念いたします。

釣内信孝様 S37 文・国文 木更津市

健康のため毎日散歩しながらのんびりと暮らしています。母校の学生や卒業生の活躍を楽しみにしています。

山田富美子（野村）様 S57 社会・応用社会 君津市

なかなか上達しませんが、少しずつ古文書の勉強をしております。残念ながら欠席させていただきますが会のご盛況をお祈り致します。

堤恵美（北本）様 S52 文・史 市川市
御無沙汰しております。東洋大学が素晴らしい大学になっていることを、日々嬉しく思っております。

友金靖子（滝脇）様 S54 社会・応用社会 流山市
野球部が一部に昇格するようにスマホでの試合をみて勝つ事を祈っています。

佐藤孝一様 S40 法・法律 松戸市
通信教育部「白山会」の活動があり（校友会）支部活動に参加出来ないであります。申し訳ありません。旅行に出たいと思いますが、体力の衰えを感じております。
尾崎喜美子様 H24 文学研究課国文学専攻博士前期終了 鎌ヶ谷市
おつかれさまです。姪の結婚式の為、参加できず申し訳ありません。皆様の御健康心よりお祈り致します。

富松詳子（葛西）様 S52 社会・社会 酒々井町
山形県の実家に転居しましたので、支部の集いには出席できません！これまで、いろいろお世話になりましたがとうございました。皆様によろしくお願い致します。

細谷耕生様 S56 社会・社会 山形市
県支部だよりが発行される頃、コロナもすっかり終息していると良いですね。当院も応召義務を果たし通常診療に戻っている事を祈ります。お陰様で年間100ラウンド連続記録は更新しております！

古澤久志様 S62 法・経営法 流山市
いつも欠席で申し訳ありません。両耳が突発性難聴の為、会話が成立しません。

川喜田重夫様 S43 経済・商 柏市
ご連絡ありがとうございました。スポーツ等に於ける後輩の皆さんのお躍りにいつも元気をもらっています。

藤川藤穂（佐藤）様 S43 文・英米文 松戸市
高齢と共に千葉への距離が遠くなりました。千葉支部の発展と盛会を祈ります。36年卒の「弥勒会」は、かれこれ50年続けています。

関信夫様 S36 社会・応用社会 中野区
今年88才、今後も出席を遠慮させていただきます。

藤村圭作様 S35 文・国文 印旛郡

校友会費納入のお願い

支部の諸活動は、校友の皆さんの会費納入による支部への交付金で運営されています。多くの校友の方々のご理解、ご協力をお願いいたします。

■年会費／3,000円
■終身会費／50,000円

※詳しくは本部事務局まで
☎ 03(3946)9111

編集後記

暫く新型コロナウイルスやインフルエンザが猛威をふるっていたのも、漸く鎮静化しつつある昨今ですが、まだ安心安全には手放しで喜べない状況下でも、校友の皆様のご寄稿、ご協力の賜物で、無事発行となりました。心から感謝申し上げます。校友の皆様のご健勝ご多幸をお祈り申し上げます。
(宮下静男)